

外部ヒアリング実施に関するアンケート結果（一般傍聴者）

■傍聴者 25人

■アンケート回答者 9人

◇性別 男性 7人 女性 2人
 ◇年齢 20歳代 1人 30歳代 1人 40歳代 3人
 50歳代 3人 70歳代 1人
 ◇居住地 村内 2人 村外 6人 不明 1人
 ◇職業 公務員 7人 その他 1人 不明 1人
 ◇傍聴のきっかけ 広報誌をみて 2人 ホームページを見て 1人
 知人の紹介 1人 県からの案内 4人 その他 1人

1. このような外部ヒアリングに基づき、事業の見直しをすることをどう思われますか。

1. 非常に意義がある	9人	100.0%
2. あまり意義を感じない	0人	0.0%
3. わからない	0人	0.0%
合計	9人	100.0%

【理由】

- ・原点に戻って事業を見直すことは、新たに気付く点も多いと思われる。
- ・村を外部がどう見ているかを知ることは、村をより良くするためには有効な手段である。
- ・庁内の意見、他市町村との比較だけではなく、外部、特に村外の有識者の意見はとても参考になることから、有効な手段であると思う。
- ・公開の場での審議、事業のリセット、十分説得力があると思う。
- ・事業について意見を求める機会はそれ程多くないので、考え方や見方について、改めて見直すことができる良い機会だと思う。
- ・村側にプレッシャーがかかり職員の意識が変わる。
- ・公開の場で議論を行うことにより、しがらみを越える力がつく。
- ・普段、継続している事務事業について、新鮮な視点が得られ、その必要性を見つめ直していく良い機会となる。
- ・ヒアリングを受けた結果を下に、現実に事業の見直しが達成できるのであれば、非常に意義のあるものである。

2. 今回の外部ヒアリングをご覧になってのご意見、ご感想等を自由にご記入ください。

- ・本県では2回目の実施ということでしたが、とても勉強になりました。担当職員は準備等で大変だったようですが、今までは関係者からの意見しか聞くことができなかつたのが、委員の方々のするどい的を得た意見が多く出され、事業の見直しをする上で参考になると思います。私が傍聴した補助金交付団体（商工会及び観光協会）への厳しい意見も多く出たので、代表者にも出席してもらえば良かったのではと思いました。ずるいかも知れませんが、行政としては言いにくいこともズバッと行ってましたので…。
- ・今回の外部ヒアリング（事業仕分け）から、佐井村の現実が見えてきて、村民の皆さんと情報共有できた事に意義がある。今後、ますます厳しい財政運営を考えると、基礎的自治体の進むべき方法が見えてきたのではないかと。職員にとっても意識が変わったと思う。実施して良かったと思う。
- ・定期的に行っていくには大変だと思う。実施後にどう活かしていけるのか期待しています。
- ・外部有識者への情報提供が少ないと思いました。また、事業項目と問題点（論点）が違う展開も見られたが、全体的には大変良いと思う。
- ・コーディネーターや有識者の切り口により、各会場の内容や深みが違う。
- ・説明者のプレッシャーは、村を良くする公正な見方への薬となる。

- もう少し村民の参加がほしい。(曜日を工夫した方が参加しやすかったのでは…)
- 仕事を休んで見に来たかいがありました。ありがとうございました。
- 職員に他市町村の先進事例等を研究する姿勢が肝要。それがあまり感じられない。また、職員が直ちに何でもやる体制ではなく、できる事は住民の協力をあおいでいく考え方を持つべきであり、事業目的に添った目標管理を徹底する必要がある。
- 役場職員のスキルアップが必要である。